

第14回 練馬区基本構想審議会  
議事概要（確定版）

日時：平成21年4月25日（土）午前10時～午後0時30分

場所：練馬区役所本庁舎5階 庁議室

<<議事次第>>

1. 開会
2. 答申案について
3. 意見具申案について
4. その他
5. 閉会

<<出席者（五十音順）>>

秋元和子、浅野祐介、上野定雄、大杉覚、大屋幸恵、高橋徳行、林真未、三澤ちづ子、  
村松昭、本山裕一、山口不二夫、若井治子（以上12名）

<<欠席者（五十音順）>>

秋山哲男、伊藤勝、岩崎久美子、沼田美穂（以上4名）

<<傍聴者数>>

10名

## 1. 開会

### ■会長

- ・ただいまから第14回練馬区基本構想審議会を開催する。事務局より委員の出席状況等について報告をお願いしたい。

### ■事務局

- ・委員が12名出席していることから、会議が成立していることを報告する。
- ・本日の傍聴者は10名である。
- ・企画課長、経営改革担当課長、財政課長、公会計担当課長、情報政策課長が出席している。

### ■会長

- ・本日の審議の前に前回の第13回審議会議事概要について、委員の修正を反映した速報版が本日机上配付されているので、次回審議会で確定したい。
- ・前回審議会の答申素案に関していただいた意見を受けて、私と調整のうえ、事務局が答申案を作成した。また、区民懇談会や区民意見等に対する答申への反映状況について一覧表に整理している。こちらは答申とは別に区長に提出する予定である。
- ・まず、答申素案からの変更箇所等を中心に事務局から説明を受け、意見交換を行い、12時30分を目処に答申の内容を最終確定していきたい。

## 2. 答申案について

### ■事務局

- －資料1-1、資料1-2の構成及び前回審議会資料からの変更点（下線部）について説明

### ■会長

- ・1回の発言で1点ずつご発言いただき、なるべくそれに基づいた論点でご議論いただきたい。
- ・本日欠席の委員からもご意見をいただいているので、それも適宜ご紹介したい。

### ■委員

- ・P19であるが、「2-2 高齢者や障害者などが自分らしく生活できる地域の環境をつくる」の最後の「○」について、「生活に困窮したときに」とある。しかし、ここで指摘された内容は区民全体にいえることであり、高齢者・障害者だけの問題ではないのではないか。

### ■会長

- ・タイトルの「高齢者や障害者など」の「など」に含まれていると思うが、「だれもが」という表現を盛り込めば良いのではないか。

### ■委員

- ・今の会長の指摘には無理があるように感じる。タイトル文に「高齢者や障害者」という表現が入ってくるので、委員のようならえ方をするのが普通ではないか。むしろ、「2

ー 1 「だれもが健やかに暮らせる環境・態勢をつくる」に位置づければ良いのではないだろうか。

■会長

- ・「2ー1 だれもが健やかに暮らせる環境・態勢をつくる」と「2ー2 高齢者や障害者などが自分らしく生活できる地域の環境をつくる」の区分等について事務局から説明していただきたい。

■事務局

- ・いずれの内容も「2」のタイトルに「だれもが」が入っており、いずれも区民全体を対象としている。
- ・その中で「2ー1 だれもが健やかに暮らせる環境・態勢をつくる」は健康・医療に関する内容であり、「2ー2 高齢者や障害者などが自分らしく生活できる地域の環境をつくる」が福祉分野の内容である。
- ・そのため、もし分かりにくいということであれば「2ー2 高齢者や障害者などが自分らしく生活できる地域の環境をつくる」の「高齢者や障害者などが」を「だれもが」に変更することも考えられるが、「高齢者や障害者」という表現がないと分かりにくいというご意見もあったので、その点も含めてご検討いただきたい。

■会長

- ・経緯としては、高齢者や障害者がいろいろな局面で課題になるということなので、「2ー2 高齢者や障害者などが自分らしく生活できる地域の環境をつくる」のタイトルに盛り込んでいるということである。
- ・「2ー1 だれもが健やかに暮らせる環境・態勢をつくる」と「2ー2 高齢者や障害者などが自分らしく生活できる地域の環境をつくる」の分野の区分が分かりにくい。場合によってはこの点も明確にしてはどうか。文案については事務局との間で調整させていただきたいがどうだろうか。

■委員

- ・「2ー2 高齢者や障害者などが自分らしく生活できる地域の環境をつくる」の一つ目の「○」に「だれもが」と入っており、その後高齢者や障害者が主体の文章が表れるため、最後の文章についても、高齢者・障害者だけの問題のように捉えられるのではないか。そのため、4つめの「○」を2番目に持ってくれば、良いのではないか。

■会長

- ・この順番についてはどのようなことを考えているか。

■事務局

- ・1つ目の○は地域福祉であり、4つめの○は行政施策としての生活保護などの内容であり、区分けをしている。
- ・順番としてはご指摘いただいたような流れにしても問題はないと思う。

■会長

- ・ではご指摘のようなかたちで整理させていただきたいが、全体としてどういった順番が

よいか。

■事務局

- ・「2-2 高齢者や障害者などが自分らしく生活できる地域の環境をつくる」のタイトルを今のままとするのであれば、1つ目の「○」を3番目にした方が良いのではないかと。一方で、「高齢者や障害者などが」を「だれもが」と変えるのであれば、4つ目の「○」を2番目に持つてくるということになるのではないかと。

■会長

- ・それでは、後者の方向で整理したい。

■副会長

- ・障害者という表記は、「障がい者」の方が良いのではないかと。

■委員

- ・障害については、その先の議論として、人の障害だけでなく社会的・場所的な障害もあるという議論もあった。

■事務局

- ・区民懇談会健康福祉分野分科会では障害者を「障がい者」と表記した経緯がある。しかし、障害者計画の策定などに合わせて、障害者団体などのご意見を伺う中では、表記よりも内容としてどう取り組むかが重要であり、表記を改める必要はないというご指摘をいただいているため、漢字表記とさせていただいた。

■会長

- ・この点は漢字表記のままさせていただきたい。

■委員

- ・P15の(2)の「アニメ文化を核として練馬の魅力を高める」という表題があるが、非常に大きな話であるようにも思う。アニメ文化を通して練馬の魅力を高めるといったニュアンスであれば、「アニメ文化を通して」などの方が適切ではないかと。

■会長

- ・こういう打ち出し方の趣旨があればご説明いただきたい。

■企画課長

- ・アニメの活性化計画を策定したところであり、アニメを区の産業の核にして発展させていきたいと考えている。そのため、「アニメを中心として」という思いからこの表現とさせていただいた。

■委員

- ・この場所に入ってくる文言としては違和感をもっただけであるので、審議会として問題がないと判断するのであれば特にこだわらない。

■事務局

- ・思いとしては「核として」であるが、記述としては「通して」の方が妥当であると考えているので、そのようにさせていただきたい。

■委員

- ・P5の第4章の分野別の基本政策について、子ども分野だけ「支える」というのは他の分野と違って少し消極的な表現であるように感じている。

■会長

- ・今日中に固めたいということもあるので、できれば具体的に対案を出していただきたい。

■委員

- ・成長自体は子どもが行うことなので、「支える」以上のことはできないのではないかと。

■会長

- ・今のお二人のご意見を踏まえてどうか。
- ・この点については子どもが成長していくことが前提になっているのだが、「支える」というのが消極的というご指摘であった。
- ・積極的というのはどういう内容なのか、支えるというのが消極的なのか、という観点での検討が必要だと思うが、他にご意見があればどうか。

■情報政策課長

- ・昨年度まで教育委員会に所属していたが、子どもの成長する力を重点におくということであれば、支えるという言葉が必ずしも消極的な表現ではないと感じる。

■委員

- ・子どもが成長するので、その土壌を作るという観点では「支える」で十分ではないかと。あまり手を加えすぎると子どもにとっても良くない結果を招くことが多い。

■事務局

- ・入れるとすれば、くどくなるが、「地域社会で支える」などの表現となるのではないかと。
- ・委員のご指摘は「支える」という内容をより強調すべきという趣旨か。

■委員

- ・「支える」というのは地域社会で支えるというのが前面に出てしまい、逆に教育が弱いのではないのかと感じた。しかし、「支える」で全てを表現しているという意味であれば、そのままが良い。

■会長

- ・内容的には、教育面についても記載されているので、その方向でご理解いただきたい。

■委員

- ・P8であるが、大きな位置づけとなる言葉に「都市」という表現が二つあるのは違和感がある。創造力のあるふるさと都市、などとしてはどうか。

■会長

- ・この点については皆様のご意見を伺いたい。
- ・まず、欠席している委員のご意見も紹介していただきたい。

■事務局

- ・欠席している委員からも、同じようなご指摘を頂いている。「人とみどりが輝く“ふるさと都市”を、ともに“創造”し・・・」との対案が出されているが、そうすると、創

造都市にこめられた思いと異なってしまっているのではないかと感じている。

- ・実は事務局としても非常に悩んでいるのだが、創造都市かふるさと都市のどちらかしか残せないか、場合によっては、いずれの文字も残さないという考え方もある。
- ・区議会からご意見をいただくことやパブリックコメントを経ることを考えると、審議会として一つには決めていただきたいが、最終的には区議会のご意見等を踏まえて決定することはご理解いただきたい。
- ・なお、「ふるさと」については、広辞苑では「旧都や古跡」が1番目の意味合いであり、次に「自分が生まれた土地」「かつて住んだところ」という意味が説明されている。説明しないと分からないという点で、やや難点があると感じている。

#### ■会長

- ・ふるさと都市にしても、創造都市にしても、思いが込められている。
- ・一方で、「ふるさと」の一般的な意味合いとして、練馬区を将来的に出て行くことを想定しているようにも思え、一般的には地方都市で使われることが多い表現である。そのため、練馬区で使うのであれば、「ふるさと」をきちんと定義しないといけないだろう。
- ・他方、創造都市ということも、一般的にはイベント的なものを行うように捉えられる可能性もあり、馴染んだ表現でもない。
- ・いずれにしても、定着した言葉ではない、理解していただく必要がある言葉であるので、その点も踏まえてご意見をいただきたい。

#### ■委員

- ・「ふるさと」が心のよりどころということであれば、「ふるさと都市の創造」という表現になるのではないか。
- ・「ふるさと」も「創造」もいずれも捨てられない言葉になっているのではないか。

#### ■会長

- ・今の表現の中での「創造」は「創造都市」でいうところの「創造」とは意味が異なっている。

#### ■委員

- ・創造都市は、地域を活性化して新たな何かを生み出し発信することのできるまちにしたいということである。
- ・練馬区をベッドタウンだけのまちにはしたくないと思っており、「ふるさと都市を創造する」という表現は反対である。

#### ■委員

- ・区民の意見や区民懇談会の中での意見で、「ふるさと都市」に対する好感度が高いようなので、その点も配慮して検討した方が良いように思う。
- ・区民懇談会では「ふるさと都市」という表現を打ち出している。

#### ■委員

- ・区民懇談会の構成員は比較的年齢構成が高い方が多かった。その中で重視するのは、安全・安心で快適なまちであったという側面はあるだろう。

- ・文化の発信とか地域産業の活性化という視点が、区民懇談会では抜けがちであり、審議会では努めてその点を発言するようにしていた。

■会長

- ・「都市」という言葉が二つ並ぶのはおかしいということは誰もが思っていることであるが、いずれの言葉にも思いが込められており、難しい。

■委員

- ・本来は矛盾する内容ではない。
- ・地域音楽祭の企画を私の自治会で進めているが、その過程を通じて互いの情報提供などにもつながっており、自分の自治会が良い方向に進んでいると感じている。
- ・そこから何かを作って楽しい場所になっていると感じており、地域コミュニティの基盤の中で発信することができることと、同時に、地域によりどころを持つと感じることは、矛盾することではないと思う。

■委員

- ・「創造都市」という冷たい表現の前に「人とみどりが輝く」という暖かい表現がつながるなど良くできていると思うが、ふるさと都市を「ふるさとと呼べるまち」としてはどうだろうか。
- ・ただし、ふるさとという表現が、辞書的な意味ではなく誇りと愛着を持てるという意味合いで読み取れる前提が必要となる。

■会長

- ・「ふるさとと呼べるまち」は少し前に言われたことであるという思いもあるが、「ふるさと都市」という真逆の言葉をあえて使っているという思いの強さもあるだろう。

■委員

- ・創造都市という言葉を見つけたときに、会長や他の委員が指摘したような内容を理解できないのではないか。
- ・創造都市という内容を説明するためには、かえって違う言葉とした方が良かった。

■会長

- ・その考え方もあるし、新しい概念であるからこそ、その言葉を使い始めるという考え方もあり得る。

■委員

- ・地域に根ざし、世界に発信しているというイメージをもっている。そのため、ふるさと都市の創造という表現とした。
- ・根ざすものがないと発信できるものはない。この点を押えておけば良いのではないか。

■委員

- ・前回議論した際に、他の委員から、大都市の中でほっとする場所があるべきではないかというご指摘もあった。
- ・創造都市もふるさと都市も両方活かしていければという結論であったと思う。
- ・このままとすると、両方の思いを残したまま片方の言葉を使ったという結果にしかなら

ないのか、という気もする。

- ・しかし、このまま議論しても確定することはできないのではないかと。

■委員

- ・英語では「グローバル」という表現があると思うが、その日本語版を作るしかないのではないかと。

■副会長

- ・前回配付していただいた資料に、他の区の将来都市像というものがあるが、キャッチコピー的に提示しているところもあれば、足立区のように将来像を3つ提示している例もある。
- ・複数提示しておき、キャッチコピーを作るときには区民公募をしてはどうかと思うが、いかがかと。

■会長

- ・今のご指摘のような決着の仕方もあり得るだろう。「人とみどりが輝く創造都市をともに築く」と「ふるさと都市を未来へつないでいきます」の二つの文章にすることになるだろうか。
- ・それ以外にも、説明文のみということもあるだろう。
- ・我々の思いを明確にすることが答申の趣旨でもあるので、今のご指摘のようなまとめ方はどうであろうか。

■事務局

- ・「ともに築き、未来へつないでいく」というのは、「創造都市」にも「ふるさと都市」にもかかっている内容である。
- ・「人とみどりが輝く創造都市と心のよりどころとなるふるさと都市をともに築き、未来へつないでいきます」といったような表現ではどうか。

■委員

- ・創造都市とふるさと都市は並列ではなく、融合・共存すべき将来像であるということを出し出すことも併記されれば、審議会の思いが伝わるのではないかと。

■委員

- ・同じ意見である。
- ・あえて将来像を二つ出しても、それはそれで面白いのではないかと感じる。

■委員

- ・「ふるさと都市」というのはやや堅い印象があるので、「ふるさとと呼べるまち」の方が良いのではないかと。
- ・練馬区は「都市」よりも「まち」という表現の方が受け取りやすいのではないかと。

■会長

- ・「序章」では、人口規模から考えて「都市」としての活力をどう活用していくのかという内容も記載されている。
- ・「ふるさと都市」という表現を使いたいという区民懇談会の思いもあったように思うが

そのあたりをどうすべきか。

■委員

- ・区民懇談会では「ふるさと都市」よりは「まち」という表現の方が共有されていたのではないか。

■委員

- ・環境まちづくり分野分科会から「ふるさと都市」という表現が提案されている。

■会長

- ・区民説明会でもそういった意見が繰り返し出ていたことは承知しているので、そういった点も考慮すべきであると思う。

■委員

- ・思いとして二つを併記するのであれば、「都市」という表現を使った方が分かりやすい。一方で一つにするのであれば「ふるさとと呼べるまち」としても良いのではないかと感じる。

■会長

- ・「ふるさと都市」というのは、「ふるさと」と「都市」というあえて相対立する要素を盛り込んだ思いをどう判断するのかということもあると思う。
- ・自治体として大都市になっている中で「ふるさと」という表現を使うことに意味があると感じている。その点はどうか。

■委員

- ・人口が70万人を超えているとはいえ、大都市であるという認識にむしろ疑問を感じている。「都市」という表現について個人的には違和感をもっている。
- ・みんなで「まちをつくる」という意味合いであると思う。

■委員

- ・大切なのは「ふるさと都市」とか「創造都市」という言葉を残すかどうかではない。
- ・離島と比較すればマンションが林立している練馬は、やはり都市であると思う。その中で、あえて村で実現しているようなコミュニティを作り上げていく挑戦をするというコンセプトであり、それが残せれば、「ふるさと都市」という表現にこだわる必要はない。
- ・また、練馬発の取組みを生み出していくという、グローカリゼーションを目指していくということが表現できれば、「創造都市」という表現にもこだわらなくて良い。
- ・ほっとする部分とアクティブな部分が併存していることを理解していただければ、表現はどちらでも良いと思う。

■会長

- ・おおむね議論は出尽くしていると思うので、とりあえず、他の論点に移りたい。

■委員

- ・地域あるいは地域コミュニティという表現が、盛り込まれているところと盛り込まれていないところがある。
- ・P8で、説明文の中に地域コミュニティということ盛り込んだことは非常に良いと感じ

ている。

- そういう意味では、地域や地域コミュニティという表現は重要であり要所には入れておいた方が良いと思う。また、「中間のまとめ」を読んで「地域コミュニティ」が入っていることを評価してくださった方もいた。
- 具体的には P5 の図において、区政経営の基本姿勢の中に「地域コミュニティ」を見出しとして入れておきたいと感じている。P10 の「区民主体のまちづくり」を「区民と地域コミュニティ主体のまちづくり」とできないだろうか。
- また、P13 で、みどりを守るのは個人よりは自治会などのコミュニティであると思う。1 行目で「区民と地域コミュニティと区が力を合わせて」とできないか。
- さらに、「地域」は「地域コミュニティ」とほぼ同様であるとしても、分野別で見ると環境とまちづくり分野に入っていない。まちづくりは、地域コミュニティをはぐくめるような環境を整備することが重要であると感じており、そういった表現を入れても良いのではないか。
- 災害の場合に、生き残るためには、事前の準備と地域コミュニティと運が必要である。災害に強い地域は、地域コミュニティを育成しているから災害に強い地域となっている。そのため、「地域コミュニティの育った災害に強く快適に生活できるまち」とした方が良い。

#### ■委員

- 「中間のまとめ」では、重点軸については「地域コミュニティの力で」と表現していた。
- 地域コミュニティについては、基本構想審議会とは別の機会に検討することとした経緯もあったように思うが、その点はどうか。

#### ■事務局

- 「中間のまとめ」の際には、「地域コミュニティの力で」ということを前面に打ち出していたが、それだけでは足りないということもあって、区政経営の基本姿勢が、現在の3 項目の内容になった経緯があった。
- 見出しとして地域コミュニティという表現がないというご指摘はあるが、本文中には要所要所に盛り込んでいる。
- 災害に対して地域コミュニティの重要性というところでは、区民生活と産業分野の「3-3 安全で安心な区民生活を支える態勢を整える」で触れている。地域コミュニティという表現ではないが、「区民、地域の団体等と区が」という表現がまさにその内容に該当する。
- P21 についても、「区民・事業者・区が連携する」という表現があり、このことも地域コミュニティとして想定している。

#### ■副会長

- 逆に頑張って地域コミュニティという表現を盛り込んだと感じている。
- これ以上入れすぎると、10 年後に計画を検討するときにはあまりにも実行できなかったという評価になるのではないかと感じた。

- ・地域コミュニティという表現を盛り込んだ結果、参画と協働という言葉が数多く入れられている。この点について区民がどの程度認識できるかについての方に懸念を抱いている。
- ・地域コミュニティをつくっていくというのであれば、それは目的であるため、あまり手段として盛り込まない方が良いのではないだろうか。

#### ■委員

- ・バラバラな個人対練馬区の場合、個人は無力であるだけでなく、対応する練馬区の労力も大きい。
- ・コミュニティをはぐくむ力というのは非常に大きい。防災のために作られたコミュニティであってもそれ以外にも役立つということは周知の事実である。
- ・出過ぎる部分もあるかもしれないが、そういうところに気がつき始めたということは前面に押し出すべきではないだろうか。

#### ■会長

- ・地域コミュニティという表現をどこまで増やすのかということについて、地域コミュニティという内容が読み込めるようなかたちで整理するのが良いのではないかと感じる。
- ・ただし、図に出ていないというのは、「中間のまとめ」との落差もあるし、地域コミュニティが重要であるというのが伝わりにくいのもある。
- ・そのため、区政経営の基本姿勢の1点目で「区民主体、地域コミュニティ重視のまちづくり」として、ここで読み取っていただくようにするというところでいかがか。

#### ■事務局

- ・「中間のまとめ」に対して、区民に押しつけるのか、町会にこれ以上仕事を増やすのかといった受け止めも多くあった。あらためて地域コミュニティを前面に出すことについては、再びこうした議論が出ないかということについて懸念をもつ。
- ・コミュニティということについては言葉に対するアレルギーもあり、押しつけ感もあったと感じており、行政としてやるべきことはやるということもあわせてお示しするというところでこうした表現になったと思っている。

#### ■委員

- ・まとめられた区民の意見についても、地域コミュニティについて非常に多くの意見があったが、それだけに有意義なことであった。
- ・良いことをやろうとしても最初は大きな非難があるのが普通である。
- ・疑問があるから後退するというのではなく、新しい地域コミュニティづくりのために行政が積極的に関与し続けることを説明していけば良いのではないか。
- ・直近に区民から寄せられた意見は参考になるのではないか。その中で、行財政改革についての意見はよくわからないので、専門の方にご対応をゆだねたい。

#### ■事務局

- ・先ほどのようなご意見の中で行政改革についての記載であるが、P24 で盛り込んでいると認識している。

■会長

- ・地域コミュニティに関してであるが、具体的にどのように反映すべきであるか。

■委員

- ・P5の図の中に、地域コミュニティを重視しているということについて明確になっていれば良いと思う。

■委員

- ・「区政の基本姿勢」から「区政運営の基本姿勢」という表現になったことで、区の思いであるということが分かりやすくなったと感じている。そのため、地域コミュニティが出ていても、事務局が懸念するような受け止め方をすることはしないのではないか。

■委員

- ・図は分かりやすく最初に見る内容であるので、図に記載されているという論点は重要であると思う。
- ・一方P10で、「地域コミュニティをはぐくむのは、一人ひとりの区民です」という表現があるが、むしろ、この表現の方が、区民にとっては押しつけがましく感じるのではないか。

■委員

- ・今の意見に賛成であり、同表現は削除してはどうか。内容的にも地域コミュニティが重視されているため、タイトルにその表現が入っている方が自然であると感じる。

■事務局（企画部長）

- ・コミュニティを担うのは、区民である。そういうことを表現している。
- ・あくまでも区民がコミュニティをつくっていくものであるが、なかなか難しい面もあるので、行政が支援するという立場であると認識している。

■委員

- ・「はぐくむ」より「担う」という表現が良いのではないか。

■副会長

- ・地域コミュニティだけにすると、土地に結びついているように感じる。土地に定着しないコミュニティで活動している人もあり、「地域」をあまり前面に出すのは違和感がある。

■委員

- ・最初のころにそういう意見があったが、最終的に地域コミュニティという表現にせざるを得ないとの結論になったのではないかと。

■副会長

- ・タイトルに入るとなると違和感が強い。

■委員

- ・住んでいる人だけではないコミュニティで、練馬区にかかわっているコミュニティは地域コミュニティと考えて良いのではないかと。

■事務局

- ・「区民主体、地域コミュニティ重視のまちづくり」という会長の案が委員の思いを反映していると思うので、「区民主体のまちづくり」をそのように修正したい。

■会長

- ・今までの議論で、地域コミュニティは町会・自治会以外のものを排除したものではない、それらを重視するということが大きな方向性であった。

■委員

- ・地域コミュニティは全体を通したベースになっているものであるため、少しだけ出ているのはかえって違和感があるのではないか。また、地域コミュニティを通したまちづくりは大事であるが、そういうものを通さないで参画することも重要である。
- ・後者の人間にとって、地域コミュニティ重視のまちづくり、という表現があると引いてしまうのではないかと感じている。

■会長

- ・1点目のご指摘について、この点を変えるのであれば、他のところで増やすのはやめたいと考えている。
- ・2点目については「(2) 区民と区との協働のまちづくり」に入ってくる議論ではないか。

■委員

- ・P21で、地域コミュニティに資するまちづくりということがある。そうすると、3行目で「自然環境を活かした、地域コミュニティをいかしたまちづくりを進めます」と入れてはどうか。
- ・また、先ほど述べた災害の点についても記載した方が良い。
- ・この分野には「地域」という表現すら盛り込まれていない。

■事務局

- ・災害についてご指摘の内容は、分野として分けた場合には、地域の活動であるので「3-3 安全で安心な区民生活を支える態勢を整える」に含むものとしている。

■委員

- ・1点目のご指摘のように「自然環境を活かした、地域コミュニティを活かしたまちづくりを進めます」と変更すると、文章の意味が変わってくるのではないかと思う。

■会長

- ・地域コミュニティというのは重要な概念であるため、全てのところに入れてしまう。
- ・しかし、「4-2 区民・事業者・区が一体となって、災害に強く快適に生活できるまちづくりを進める」と「3-3 安全で安心な区民生活を支える態勢を整える」は分けざるを得ないので、つながりがあることが分かるように運用するという対応にせざるを得ない。

■事務局

- ・4つの分野に分けているが、それぞれで完結するものはないと理解している。しかし、

分野別に分けるとするとうこういった整理になる。施策実施段階で連携していくことは重要であると感じている。

■会長

- ・その点については答申に記載しないが、きちんと受け止めていただきたい。

■委員

- ・P24 の「4」の最後の「○」であるが、「職員の意欲と能力を高めることで」という表現は不要ではないか。削除した方が言いたいことがはっきりするのではないか。

■会長

- ・今の点についてはどうか。

■事務局

- ・モチベーションを高めることとスキルを高めるという 2 点を盛り込むための表現であるが、なくても良いというのはご指摘の通りだと思う。
- ・当然含まれるという理解を得られるのであれば削除した方が良いと思う。

■会長

- ・前段と後段がうまくつながっていないので、削除しても良いように感じる。

■委員

- ・P24 の「2」に関する 1 点目の○について、自治基本条例についてはこれまで何も取り組んでいないように受け取られると感じる。区民懇談会から提言まで出している状況でもあるので、用語説明の中で検討を進めているといったことを記載してはどうか。

■会長

- ・懇談会の提言を受けたという点を用語説明の中で記載するようにしていただきたい。

■委員

- ・自治基本条例に関して、基本構想の中で記載するのはいかななものか、という意見が区民から出ているが、これは踏まえなくて良いのか。

■会長

- ・これまでの議論の中で、自治の理念のような内容を基本構想の中でどこまで書くのかという議論とも関連して、区として自治基本条例を制定する意向をもっているということもあり、自治基本条例の中でそういったものを整理するということをお諮りした。

■委員

- ・区民の意見についてはどう扱うことになるのかという質問である。

■会長

- ・いただいた意見については、その対応状況も含めて、明確にさせていただいている。
- ・全ての意見を 100%取り入れることはできないので、審議会でこういう考え方であったということを示すのが誠実な対応であると感じている。
- ・他のご意見がないようであれば、本日欠席の委員のご意見についてご説明いただきたい。

■事務局

- ・「答申にあたって」の 2 ページ目の 9 行目について主語・述語が分かりにくいというご意

見については、「区は」という表現を削除することで対応したい。

- また、「練馬区のめざす 10 年後の姿」については、これまでの議論を踏まえ、「人とみどりが輝く」が最初にあり、「創造都市」「ふるさと都市」を並列で記載し、最後に「ともに築き、未来へつないでいきます」としてはどうかと感じている
- 第 3 章について 1 点目の「豊かなみどりを守り、増やし、活かす」の「増やす」と「活かす」を逆にしてはどうかというご指摘については、委員からご意見をいただきたいが、当初の「はぐくみ」をより具体的にして「守り、増やし」に変更した経緯があり、プロジェクトの内容としては「活かす」の内容が最後であるので、今の順番で良いのではないかと感じている。また、2 点目の「ヒートアイランド現象の緩和」は農プロジェクトではなくみどりプロジェクトで示すべきではというご指摘については、「ヒートアイランド現象の緩和」等の部分を削除することで対応したい。3 点目の「人づくりプロジェクト」の「就業」と「社会参加」を逆にするというご意見については、中学校での社会体験学習なども含めれば今の順番でも良いと考えているが、ご検討いただきたい。
- 第 4 章の 4-1 で水に対する記述を追加すべきというご指摘については、河川や水辺などの表現を追加するかたちで対応させていただきたい。
- 用語説明における地域コミュニティの掲載ページについては、ご指摘の通りであり、初出の 2 ページに修正させていただきたい。

#### ■会長

- 用語説明については初出ページを掲載しているということは記載させていただきたい。
- その他にご意見はあるだろうか。

#### ■委員

- 大枠についてはだいたい合意が得られたと思うので、最終的には会長にお任せすることで良いのではないかと。

#### ■会長

- 皆様の意見も記録にとどめているし、行政には受け止めていただきたいものとして整理している。いずれにしても答申案の作成という観点からは最終的には一区切りとさせていただきたい。
- 他に、どうしても発言したいという論点はあるだろうか。
- 一番大きいと思われる、10 年後の姿を整理するという点について、僭越ではあるが、会長一任とさせていただきたいと思うがよろしいか。

(各委員賛同)

### 3. 意見具申案について

#### ■事務局

—資料 2-1 および資料 2-2 について説明

#### ■会長

- 最終的にこういうかたちで整理することについてご了解いただきたい。

- ・またこの資料については、今後活用するためにまとめたものであるので、その点をご理解いただき、答申とあわせて意見具申として提出させていただきたいと思うがよろしいか。

(各委員賛同)

#### 4. その他

##### ■事務局

- ・5月1日(金)午後6時から答申を行い、その際には各委員に感想をお話いただければと考えている。審議会終了後、懇親会を予定している。
- ・答申のあらましを紹介する基本構想ニュースを5月中旬に発行させていただきたいと考えており、副会長からコメントをいただきたいので、よろしくお願ひしたい。

#### 5. 閉会

(以上)